

郵政ユニオン長崎中郵支部 第13回定期大会を開催

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4485
24年10月1日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。朝夕が急に寒くなりました。季節の変わり目は体調を崩しがちです。栄養と休養のバランスを取りながら体調を維持したものです。

9月28日、郵政ユニオン長崎中央郵便局支部は第13回の定期大会を開催しました。

開会のあいさつで、原田副支部長は、「24春闘において日本郵政は、非正規の賃上げはゼロ回答、地域最低賃金が上がれば上がるという無責任なものでした。今年、支部では長崎地方最低賃金審議会にて意見陳述を行ったように、活動を通して未来に繋がるような大会にしたい。」と述べました。来賓には、長崎地区労の加世田書記長、長崎県労連鳥巢議長、九州労働金庫長崎支店川口係長、

(敬称略)が出席され、お祝いの言葉と力強いメッセージを頂きました。



また、諫早総合法律事務所中川弁護士から「真の良い社会を作るためには、労働組合がひるむことなく使用者と対峙し、労働者の地位の向上を訴え、権利侵害には立ち向かうことが絶対に必要です」と激励のメッセージを頂きました。

大会の議長には佐田執行委員、資格審査には前田執行員をそれぞれ選出し、議事へと移りました。2023年度の活動報告、2024年度の活動方針を向井書記長が提案し、2023年度の会計報告、2024年度の財政方針の提案を海江田執行委員が提案しました。

その後の質疑討論では、出席者から様々な意見が出ました。

○10月1日からの料金改定で普通郵便や年賀状が減少し、収入が減ることが見込まれる。今後残業の締め付けへの懸念がある。

○社員の安全やプライバシーの観点により胸章の名前明記が必須ではなくなるが、表示しなくても良いという文言だけでも詳細の通知がない。

○ゆうパケットを郵便部が町ごとに仕分けて、集配に交付する取り組みが何度かあったが立ち消えになった。その後どうなったのでしょうか…



○ヤマト運輸との協業で、特に土日のゆうパケットが多く、バイクに積載できるのか、配達でき

長崎中央郵便局支部 2024年度 支部役員		
役職	氏名	職場
支部長	山田武明	第3集配営業部
副支部長	原田芳博	第3集配営業部
書記長	向井 宏	第2集配営業部
執行委員	海江田弘子	第1集配営業部
〃	濱崎直樹	第3集配営業部
〃	前田節二	第3集配営業部
〃	佐田 剛	第3集配営業部
青年女性部長	黒田彩加	第1集配営業部
会計監査	山内みどり	窓口営業部

るのか、職場では不安だらけです。要員配置を見直すように組合として要求して欲しい。

執行部答弁では職場の問題点に関しては、声を上げていく事が大切で、困りごとがあれば執行委員に相談してほしいと訴えました。

その他、組織拡大に向けた課題と取組みを議案として討議しました。24年度の役員体制も決まり、これから一年間、より良い職場環境を目指し、決して仲間を孤立させない活動を行っていきます。

西彼杵郵便局を65歳で退職された後、約10年間、火曜日、木曜日に書記局当番を担当してくださった小島滋さんが支部大会をもって退任されました。長い間、ボランティアで書記局の仕事を手伝って頂き感謝しかありません。本当にありがとうございました。



小島さん本当にありがとうございました

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら

